

サンディスク、世界初の15ナノメートル(nm)プロセス技術に基づく

業界最先端の1Z世代のフラッシュメモリー製品を出荷開始

2014年4月22日(カリフォルニア州ミルピタス発)― フラッシュメモリーストレージソリューションで世界をリードするサンディスクコーポレーション(NASDAQ: SNDK)は本日、世界初となる15ナノメートル(nm)プロセス技術に基づくフラッシュメモリー製品の出荷を開始したことを発表しました。業界最先端の1Z世代のフラッシュメモリー製品は2ビットセル(X2)と3ビットセル(X3)両方のNANDフラッシュメモリーアーキテクチャーにて提供され、量産は2014年後半を予定しています。

「業界最先端のフラッシュメモリープロセスを更に向上することで、世界最小かつコスト効率の高い128ギガビットチップを提供できることを嬉しく思います。新プロセスにより、サンディスクのNANDフラッシュソリューションのポートフォリオを更に拡張し、差別化していくことができます」サンディスクコーポレーションのメモリーテクノロジー担当シニアバイスプレジデント、シバ・シバラムは語ります。

15nmプロセスは、多くの革新的プロセス技術と寸法縮小に対応したメモリーセル設計ソリューションにより、メモリーセルサイズを縦横双方において小さくすることに成功しています。サンディスク独自のプログラミングアルゴリズムとマルチレベルデータストレージ管理スキームを持つABL(オールビットライン)アーキテクチャーを1Zテクノロジープロセスに使用することにより、メモリーの性能と信頼性を妥協しないNANDフラッシュソリューションを提供します。サンディスクの1Zテクノロジーは、メモリーカードからエンタープライズ向けSSDまでの幅広い製品群に使用されます。

■サンディスクについて

フォーチュン500ならびにS&P500カンパニーであり、データストレージソリューションで世界をリードしているサンディスクコーポレーション(NASDAQ: SNDK)は、これまで25年間にわたって斬新なアイデアと革新的な製品でエレクトロニクス業界に変革を起こしてきました。サンディスクの最先端のソリューションは、世界最大級のデータセンターの多くに採用され、スマートフォンやタブレット、そしてパソコン用の組み込みストレージとしても幅広く使われています。また、サンディスクのリテール製品は、世界中で販売されています。

サンディスク株式会社は、東京に本社を置き、大船、四日市にオフィスがあり、日本での営業・マーケティング業務拠点ならびにNANDフラッシュメモリーの開発・製造を行っています。

© 2014 SanDisk Corporation. All rights reserved.

サンディスクはサンディスクコーポレーションのトレードマークであり、米国その他の国で登録されています。

本リリース内で記述されている他のブランド名は識別の目的で記されたものであり、それぞれの登録者のトレードマークである場合があります。

本リリースには技術ならびに製品リリース、ウェハーの生産、テクノロジーと製品能力、コスト、性能、マーケットなど、将来の見通しに関する記述がありますが、これは現時点での予想に基づく予測であり、様々なリスクの起因により、不正確になる可能性があります。将来の見通しに関する記述が不正確となることを起因するリスクには以下が含まれますが、それらに限定されるものではありません。そのリスクには1Zナノメートルプロセス技術、X2ならびにX3 NANDメモリーアーキテクチャー、またこれらの技術を使ったソリューションなど、書式10-KIに基づく四半期業績報告を含めた有価証券及び株式取引委員会へ提出の書類と報告書に随時詳細が記される他のリスク類がありますが、それらに限定されるものではありません。尚、サンディスクは本リリースに含まれる情報を更新する予定はございません。

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ>

サンディスク株式会社 広報担当: 羽田野(はたの)

TEL: 03-4334-7102 FAX: 03-5463-2013

CP: 090-5765-9730

ブルーカレント・ジャパン株式会社 サンディスク広報担当: 岡(おか)、山崎(やまざき)

TEL: 03-6204-4141 FAX: 03-6204-4142

E-mail: SanDisk_pr@bluecurrentgroup.com